

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【四半期会計期間】	第31期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社フライングガーデン
【英訳名】	FLYING GARDEN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 野沢 八千万
【本店の所在の場所】	栃木県小山市本郷町三丁目4番18号
【電話番号】	0285（30）4129（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 片柳 紀之
【最寄りの連絡場所】	栃木県小山市本郷町三丁目4番18号
【電話番号】	0285（30）4129（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 片柳 紀之
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第30期 第2四半期 累計期間	第31期 第2四半期 累計期間	第30期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	3,730,861	3,691,671	7,229,684
経常利益(千円)	22,527	154,970	95,881
四半期純利益又は四半期(当期)純 損失()(千円)	65,274	72,614	63,311
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金(千円)	579,900	579,900	579,900
発行済株式総数(株)	1,449,168	1,449,168	1,449,168
純資産額(千円)	1,376,350	1,407,483	1,378,316
総資産額(千円)	4,087,445	3,924,790	3,975,565
1株当たり四半期純利益又は1株 当たり四半期(当期)純損失金額 ()(円)	45.14	50.22	43.79
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	30.00
自己資本比率(%)	33.7	35.9	34.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	39,367	272,764	186,950
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	78,017	1,496	92,551
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	65,532	151,377	199,511
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	200,981	322,934	200,051

回次	第30期 第2四半期 会計期間	第31期 第2四半期 会計期間
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	15.44	26.94

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等を含んでいません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第30期第2四半期累計期間及び第30期については、1株当たり四半期純損失又は1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません、第31期第2四半期累計期間については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであり、将来に関する事項には、不確実性を内在あるいは、リスクを含んでいるため、将来生じる実際の結果と大きく異なる可能性もあります。

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災及び原発事故の影響による景気の低迷からは着実な回復が見られたものの、欧米をはじめとする海外経済の減速や円高の進行等、景気の先行きへの不透明感は継続しております。個人消費の面でも、雇用・所得環境の悪化とともに生活防衛意識が高まり、外食控えや内食への回帰が進むなど厳しい状況にありました。

このような環境下で、当社は東日本大震災直後より、外食企業の使命である「安全・安心でおいしい商品を提供し続けること」を最優先に取り組んでまいりました。

出退店につきましては、当第2四半期累計期間中には行いませんでしたので、当第2四半期末の店舗数は前期末と変わらず67店舗となりました。

当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は4月以降の計画停電も未実施となり、また、7月以降の自動車業界における土日操業などの影響もありましたが、前年並みの3,691,671千円(前年同期比1.1%減)となりました。また、販売費及び一般管理費は、広告、販促費等の大幅な削減に努めたことから前年を下回り、当第2四半期累計期間の営業利益は162,319千円(前年同期比469.9%増)、経常利益は154,970千円(前年同期比587.9%増)、四半期純利益は72,614千円(前年同期は四半期純損失65,274千円)となり減収増益となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末と比べて122,883千円増加し、322,934千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は272,764千円(前年同期比592.9%増)となりました。これは主に税引前四半期純利益154,970千円を計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における投資活動の結果、獲得した資金は1,496千円(前年同期は78,017千円の使用)となりました。これは主に差入保証金の回収による収入19,438千円を計上したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における財務活動の結果、使用した資金は151,377千円(前年同期比131.0%増)となりました。これは主に短期借入金の純減額200,000千円を計上したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対応すべき課題において重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,449,168	同左	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	(注)
計	1,449,168	同左	-	-

(注) 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	1,449,168	-	579,900	-	496,182

(6)【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
野沢八千万	群馬県桐生市	416,390	28.73
有限会社アクティヴ	群馬県桐生市新宿1丁目11-8	120,960	8.35
フライング・ガーデン持株会	栃木県小山市本郷町3丁目4-18	72,616	5.01
野沢卓史	栃木県小山市	66,124	4.56
穴見保雄	大分県大分市	56,092	3.87
野沢通子	群馬県桐生市	54,144	3.74
野沢良史	群馬県桐生市	51,724	3.57
株式会社足利銀行	栃木県宇都宮市桜4丁目1-25	28,800	1.99
株式会社群馬銀行	群馬県前橋市元総社町194番地	14,400	0.99
株式会社常陽銀行	茨城県水戸市南町2丁目5番5号	8,640	0.60
計	-	889,890	61.41

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,300	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,420,800	14,208	同上
単元未満株式	普通株式 25,068	-	同上
発行済株式総数	1,449,168	-	-
総株主の議決権	-	14,208	-

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社フライングガーデン	栃木県小山市本郷町三丁目4番18号	3,300	-	3,300	0.23
計	-	3,300	-	3,300	0.23

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
常務取締役	内部統制担当兼内部監査室長	常務取締役	内部統制担当	長野 令	平成23年7月1日

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について監査法人A & Aパートナーズによる四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	507,052	617,935
売掛金	21,435	22,151
原材料	25,758	29,082
その他	130,635	124,182
流動資産合計	684,881	793,352
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,227,350	3,229,640
構築物	797,542	797,542
その他	808,819	823,129
減価償却累計額及び減損損失累計額	2,908,462	3,004,528
有形固定資産合計	1,925,250	1,845,784
無形固定資産		
投資その他の資産	192,079	190,243
投資その他の資産		
差入保証金	577,659	554,918
その他	641,285	584,414
貸倒引当金	45,591	43,922
投資その他の資産合計	1,173,353	1,095,410
固定資産合計	3,290,683	3,131,438
資産合計	3,975,565	3,924,790
負債の部		
流動負債		
買掛金	198,892	206,380
短期借入金	440,000	240,000
1年内返済予定の長期借入金	296,786	299,088
未払金	252,115	250,304
未払法人税等	48,541	28,894
ポイント引当金	5,813	7,130
賞与引当金	25,105	30,084
災害損失引当金	10,849	8,020
その他	111,888	149,258
流動負債合計	1,389,990	1,219,161
固定負債		
長期借入金	787,185	879,442
退職給付引当金	92,536	95,891
役員退職慰労引当金	136,428	137,640
資産除去債務	103,788	105,817
その他	87,319	79,353
固定負債合計	1,207,257	1,298,145
負債合計	2,597,248	2,517,307

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	579,900	579,900
資本剰余金	496,182	496,182
利益剰余金	309,376	338,614
自己株式	5,404	5,413
株主資本合計	1,380,053	1,409,283
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,736	1,799
評価・換算差額等合計	1,736	1,799
純資産合計	1,378,316	1,407,483
負債純資産合計	3,975,565	3,924,790

(2) 【四半期損益計算書】
【第 2 四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	3,730,861	3,691,671
売上原価	1,222,403	1,153,873
売上総利益	2,508,457	2,537,797
販売費及び一般管理費	2,479,973	2,375,478
営業利益	28,484	162,319
営業外収益		
受取利息	2,436	1,933
受取配当金	60	82
受取賃貸料	18,234	14,187
その他	5,128	3,550
営業外収益合計	25,859	19,754
営業外費用		
支払利息	15,164	12,749
賃貸収入原価	14,104	10,345
その他	2,548	4,007
営業外費用合計	31,816	27,103
経常利益	22,527	154,970
特別利益		
受取補償金	5,651	-
特別利益合計	5,651	-
特別損失		
減損損失	6,028	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	54,937	-
特別損失合計	60,966	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	32,787	154,970
法人税、住民税及び事業税	16,543	16,501
法人税等調整額	15,944	65,853
法人税等合計	32,487	82,355
四半期純利益又は四半期純損失 ()	65,274	72,614

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	32,787	154,970
減価償却費	118,305	102,933
減損損失	6,028	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	54,937	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,484	1,668
ポイント引当金の増減額(は減少)	1,916	1,317
賞与引当金の増減額(は減少)	1,515	4,979
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,336	1,212
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,245	3,354
受取利息及び受取配当金	2,496	2,015
支払利息	15,164	12,749
売上債権の増減額(は増加)	4,167	715
たな卸資産の増減額(は増加)	1,705	3,324
仕入債務の増減額(は減少)	28,862	7,488
未払金の増減額(は減少)	17,807	4,219
未払費用の増減額(は減少)	9,459	6,071
未払消費税等の増減額(は減少)	19,465	16,062
その他	18,882	26,249
小計	88,751	325,444
利息及び配当金の受取額	335	180
利息の支払額	14,679	12,114
法人税等の支払額	38,605	37,607
法人税等の還付額	3,566	69
災害損失の支払額	-	3,207
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,367	272,764
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	101,500	181,000
定期預金の払戻による収入	138,000	193,000
有形固定資産の取得による支出	125,574	15,124
差入保証金の差入による支出	5,124	-
差入保証金の回収による収入	21,424	19,438
その他	5,243	14,817
投資活動によるキャッシュ・フロー	78,017	1,496
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000	200,000
長期借入れによる収入	300,000	250,000
長期借入金の返済による支出	221,062	155,441
リース債務の返済による支出	3,872	3,958
自己株式の取得による支出	18	9
配当金の支払額	40,579	41,968
財務活動によるキャッシュ・フロー	65,532	151,377
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	104,183	122,883
現金及び現金同等物の期首残高	305,164	200,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	200,981	322,934

【追加情報】

当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
販売費及び一般管理費の主な内訳	販売費及び一般管理費の主な内訳
消耗品費 114,190千円	消耗品費 114,695千円
給料・賞与 383,033千円	給料・賞与 368,147千円
賞与引当金繰入額 25,105千円	賞与引当金繰入額 30,084千円
雑給与 763,637千円	雑給与 763,525千円
役員退職慰労引当金繰入額 2,336千円	役員退職慰労引当金繰入額 2,397千円
退職給付費用 6,861千円	退職給付費用 7,200千円
地代家賃 301,107千円	地代家賃 281,426千円
水道光熱費 242,767千円	水道光熱費 231,066千円
減価償却費 116,966千円	減価償却費 101,713千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在) (千円)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在) (千円)
現金及び預金勘定 495,981	現金及び預金勘定 617,935
預入期間が3ヶ月を超える定期 295,000	預入期間が3ヶ月を超える定期 295,001
預金	預金
現金及び現金同等物 200,981	現金及び現金同等物 322,934

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	43,379	30.0	平成22年3月31日	平成22年6月25日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	43,375	30.0	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

(金融商品関係)

当第2四半期会計期間末において、金融商品の四半期貸借対照表計上額その他の金額に前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められませんので、記載を省略します。

(有価証券関係)

保有している有価証券に会社の事業の運営において、重要なものはなく、かつ、当第2四半期会計期間末において、有価証券の四半期貸借対照表計上額その他の金額に前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められませんので、記載を省略します。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ファミリーレストラン事業の単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	45円14銭	50円22銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	65,274	72,614
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	65,274	72,614
普通株式の期中平均株式数(株)	1,445,944	1,445,858

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第2四半期累計期間につきましては、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため、当第2四半期累計期間につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月7日

株式会社フライングガーデン
取締役会 御中

監査法人 A & A パートナーズ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 笹本 憲一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加賀美 弘明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フライングガーデンの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第31期事業年度の第2四半期会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フライングガーデンの平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。